

空軍益々威力發揮

南京制空権獲得!!!

敵參謀本部・砲台粉碎

(上海廿日) 海軍航空隊の南京爆撃は本廿日午前十時乃
以同十一時の二回に亘りて敢行され、第一回目は敵機
は我が昨日の空襲に大半墜落され、幸ふして魔滅するもの
七八機に過ぎず、既に南京制空権を獲得し、絶対優勢を持
する我が部隊は四機互撃撃、其他を擊退帰還した。我が
損害はパイロット一名負傷の他皆無、本日の空襲で南京飛
行場、防空砲台は致命的損害を蒙へられ、国民政府参謀、
本部等は粉碎され石。

(上海廿日) 十九日午後南京空
飛の中を敵前着水敢行、全員五枚
助に無事基地に帰還した。
度の空襲に敵機互に文字通り殲滅せ
し力だが、其にとまじて支那人の
精神的打撃は想像以上のものがあ
らう。

我軍海軍機爆撃す

のため軍政機構改組を決定した。
右新陣容の入選は左の如くである
軍区司令蔣介石兼任、津浦
軍区司令蔣介石兼任、河上軍司令周
(東京廿日) 本日午前海軍省發表
によると十九日午後南京空襲に各
處し我軍機は蘇州、徐聞、蘇
州等空襲、飛行場、兵營、停車
場その他に莫大が損害を蒙った
る。

南京は遷都の氣運濃厚

西安防空施設に憂心屢起

敗將湯恩伯南京に招致

(東京廿日) 陸軍省への懇意に
左開始せり、〇〇部隊は自下齊敵
の抵抗を排除して敵を追撃中、
擇湯恩伯は蔣介石に招致され南京
に赴くと、尚鵠山は部下李服膺
の作戦翻訛による惨敗に憤慨、復
つてゐるが、自國の空軍をだのみ
にし得ず、尋ねて請ひ的防衛に躍起
とありてゐる。

支那軍政機構互改組

(東京廿日) 陸軍省は本年度陸軍
主に左以て西方及び西南方に退却
と国民政府は長期抗日陣線建直し
特別大演習は支那軍事の御取止と発表
が十九日成立した。

我軍・南京爆撃を予告

戰略上の不利を顧みず

京の万三人以上
非難開闢難通告

互發せる眞意は
南京が支那全
軍の作戦本部
と化し盛んに
軍事施設を互

第三國人の生命財産保護の爲
第三國人の生命財産保護の爲

支那混亂の大都

南京は遷都の氣運濃厚

(上海廿日) 我の
空襲と長谷川長官
の第三國人に對す
る立派な警告、南京
は大混亂に陥り
都の氣運濃厚と
ありたが、蔣介石
以下首脳協議の結果
にし得ず、尋ねて請ひ的防衛に躍起
とありてゐる。

(東京廿日) 陸軍省への懇意に
左開始せり、〇〇部隊は自下齊敵
の抵抗を排除して敵を追撃中、
擇湯恩伯は蔣介石に招致され南京
に赴くと、尚鵠山は部下李服膺
の作戦翻訛による惨敗に憤慨、復
つてゐるが、自國の空軍をだのみ
にし得ず、尋ねて請ひ的防衛に躍起
とありてゐる。

羅天鎮附近の我が部隊

全力を挙げ攻撃開始

上海廿日) 長谷川第三艦隊司令
長官は十九日列國外交機關に對し、
南京は支那軍略の中心なりと云ふ
理由させ、一日正午以後爆撃を敢行
すべく其以前に各國居留民は安
全地帯に避難せしめ、外國艦船は
斯う事は國際公法にとより事である
上海廿日) 長谷川司令長官は廿
日一般支那人非難機關に対し南京
及びその附近に於ける支那軍事施
設に接近せざる様勧告を發した。

(東京廿日) 上海廿日) 教育系持して
我が海軍が南
支持する羅天鎮附近の〇〇部隊

長期陣容建直しの鳥

本年度演習は御取止め

(上海廿日) 當地支那入電によ
るところ、人民の福祉増進を目的
とする大同地方治安組合會
が十九日成立した。

(東京廿日) 陸軍省は本年度陸軍
主に左以て西方及び西南方に退却
と国民政府は長期抗日陣線建直し
特別大演習は支那軍事の御取止と発表
が十九日成立した。

日一十二月九午二十和田

「る亘にヨキ百約線戰

涿州平野の大会戦は

(北平十九日)勦総約西キロに亘る涿州平野の大会戦は五日
間の戦闘で敵に大打撃を与へ我軍の大捷に帰し一段落を
告げた。

(北平十八日) 添州左三
方より包囲敵次敵を西
方に追撃中の〇〇部隊
は十八日早朝敵の装甲
列車を奪つて敵中を駆逐、平裏線
沿線に散がる敵に対し多大の損害
を与へつ、該戦線の重要據点高碑
店に突込み兎事に一番乗りの凱歌

を擧げて、これより先敵は退却に際し琉璃河鉄橋を破壊し我装甲列車の進撃を拒んだが勇敢なる我の部隊は琉璃河を渡つて敵軍の装甲車を乘取りこれを運轉して南進鉄路附近に立たせる欲殊共を踏濱ひつゝ驚走我が空襲に依り炎々と大火災を起しつゝある涿縣左右に

(5) 号二十三百七

北平十八日) 十四日より一晩に院
始された涿州平原に於ける戦闘で
我軍の敵に与へた万損害は房山方
面の〇〇部隊に依る死者凡そ三千

（倫敦十八日）秩父宮同妃兩殿下には十八日御尙膳麗なしく倫敦御出發、加奈陀經由一路御帰國の途に就かざる。

三井船舶の備考行船
帝国政府在京各国大公使に覚書通達

三月二日、帝国政府在京各國大公使に覺書通達
（明治二十九年三月二日）

支那船舶中には假裝的に第三國へ
國籍を移轉して我の監視の目を免
れんとするもの続出するに至つた

ので帝国政府は、これが防止され
ぬ適当の措置を講ずることとなり
十八日外務省より在京各大使に
対し左の如き電書を通達本國政府

視に當る
岸航行遮断
に傳達されて
輸した。
「帝国海軍は
マダに速か
に事態を安定する爲めとして支那
船舶に対する一定地区を除く支那沿
岸航行遮断

〔第十三回〕 支那空軍のアーバー
不法爆撃事件に關し廿二日当地
査問会が開かれ石が、ヤードレ
ー船長以下は、支那機が米國船と
知りながらこれを爆撃したものと
め方と闡陳した。

〔第八十八回〕王正廷大使は十
八日ル大統領ヲ訪問武器禁
輸に就キ泣き入ル聯盟の
話同委員会に参加を要請し
たと信せられる。石の結果
は却つて米國側の反感を招
くに過ぎなかつたようだ。

武器大使領に泣く

支那實業の第一編

め十三日上海發軍艦900に便索航
程を衝りて出航途中の日本基地にて
万端の準備を整へ一路南下中今近
公ひたるは僅かに第三國旗を掲げ
たる汽船のみにて支那船舶は一隻

海の交通を遮断する措置が執られると、ころ支那船舶中には布三國への回船移轉を候要とする交通遮断の効果を免れんとするものあるに鑑み、國政府は之を防止のため昭和十二年五月一日より三品級以下ノ

支那窮余の一策試器賣

九州で選舉のやり直し

ラカル党は三州の選挙に不参加

効無拳選いし裸と何

於てはラガカル党即ちアルベアルの勝利は帰し三十四名の選舉人を獲得するに至つた、廿日武市選舉マヌエル・フレスコ・武州知事の施政上に於ける独裁的傾向に對して平生より反感互抱いてゐた武州の社会党議員連、今回の大統領選舉に於ては愈々フレスコ知事の與党接觸の態度露骨となり、其の爲め行なにこゝ手放せぬ益々辛辣を極め、興党官憲結束による大衆偽瞞の不法行為撲滅、斯くては正直ある憲政の運行を期し難いといふので、レスコ知事に對して武州治政を任せ置き得るや否や政治審判(フイ

選舉無効區は於て追補選舉が施行
これに至つた。それは先づサ
ルタ、サンタフエ、武州の追補選舉
にはテニカル党は公正選舉の施行
月間に起る 聲シオ・ホリティ
コ一を下すべ
さだごく見解
さ有し、過日
C. S. ヴィアモントは社会党の武州
下院議員を代表して公然フレス
ト知事糾弾の牙一声を放つたが
サンタフエ州社会党議員連に於て
も此等に割戦され
今爾選舉に於てはサンタフエ州
に在つても武州と同様の不法行
為が官憲與党結束の下に実行さ
れだ。斯る政治道盜油の悪傾向
は兩州に止まらず今や全国に及
ぼんとしてゐる。この際武州サ

フレスコ知事糾弾の聲 武州社会党下院議員間に起つ

シテ、ホリニ
ヨ）を下すべ
きなどゝ鬼解
き有し、逼曰

英
國
で
建
造
中
の
軍
艦
七
隻

繞々進水式舉行

進水式を挙行、而してヴィカースア

市内スアーレス街一三〇

河苔伯煮大一。○七。花鮰箱五。白
全。○中。○七。淡草海苔一帖。○九。寒

蟹鑑
鑑一五。高野豆焉。八。乙
鑑二五。鑑。前口。九。初

馬丁貞。三。若布杞。二。空
朱鳳。一。左慈。三。吳堅。

燒松茸”西。
福神讀內。
中藥煎子。
梅餅。

力公
餅壇二八。花あられ壇三四。白
雲、オホ。櫻梅、走蔓、天の黒

萬國醬油一瓶一四〇推
黃口三〇〇千

卷之三

塩沢氏の結婚披露。四会幹季様
永年の独身生活をさうりて捨て今田石井
久三娘と結婚、未ち廿五日午後七時より
森川氏宅で盛大に披露宴を催す由。

ありぞ左丸
さんとす丸
十月十四日入港
十月二日出帆

算盤 (三五〇)
將棋の駒 (一組一〇〇)

中川商店

雍雖一。乞不當廢太

一辛號二三。割箸

卷之三

味付海苔一盤
干そば一把

く続軍進の後銃

今度は在亞同胞から

愛國飛行機獻納

日会役員会で決議

支那兵の不法砲撃に端を
金額に達しそれらは既に祖国に送

著と自力邇信に附した蔣介石以下支那軍の挑戦的行動により、事態は日逐小に從つて更に拡大悪化し遂に我方をして初期の方針を一擲「歟」二字にて返進せしめるに至る。支那軍變と改称せられる迄に至り、

遂に終る。この間は、我の軍事的行動が、敵よりがつかまつたが、我が軍は、皇軍は今爾輩變動以東陸に海に空に東亞安定の基石として邦家のため尽忠の努力を捧げ、今や全世界に亘り能く畢竟膺懲の実を挙げて居り、国民は又国民ごと例外の別なくこの重大時局に際し挙国一致、銃後の勢に万全を期すべく現地の皇軍を支援すると共に、広く国防の充實に対する各々自發的に愛國の赤誠を發揮してゐる。

遠く祖国を離れて平和な他國に生
計を営む我々にとってはやめて此

遠く祖国を離れて平和な他國に生
計を営む我々にこそはせめて此
の種の愛國的行爲だけでも続けて
行ふ要又ろき痛感した日会では、
更に在華同胞による銃撃の勢めに
相車をかけろべく、去る十九日午
後六時半から開かれた第五回災夷

遂に八百袋に達

曰会員その他の同胞から
曰会の發展策に関する意見を聽

一墨氏
子二世青年女子ウ善導教
す

送也出來た。又、日本婦人部主催の慰問袋募集中に於ても、愛國の赤

着用と同時に交渉することは古事記である。

相憎り雨ご淋しがつた

一路同歸各并人固猶可曰全以文
する感情を一掃せよと一々具体

会の席上に於て、今度は慶國殿
械献納の議を可決、乍一回締切と
本年十二月末日とおし早速據金並
渠に着手すること、あつた。

機券行は地から続々と到着しつゝあり、廿日午後六時迄に到着した慰問袋は恩公くの慰問品と見へて軽いの重いの取混せて約四百五十個、これが代理は辻夫人は早朝より曰会につりかけてゐた。

田、和久、竹本、新村、新宅、矢野
ウ諸氏出席午後四時半エリ開催
一新宅氏曰会互維持会員制度江
すべしと説き

十五百五千口實延線斷遞

熱帶海上自然の暴威と鬪ひつゝ

(軍艦〇〇にて廿日同監特派員發) 全支沿岸交通遮断は帝国海軍精銳の手も洩らさぬ監視網に依り着々実効を收め、今や中支沿岸上に支那船舶の片影を認めず、監視の中心は海上に移つた感がある。南海上に移つた敵がある。遼寧艦は北は海州湾より南は海島島及び北海南まで全將兵の士氣は極めて旺盛、像き絶するものがあるが、麾下、

支那の支那良民の生活は脅威を与へざるやう慎重を期しつゝ、
縱横の沿脣を統けてゐる。我が軍は海軍實力に依る遠斷で支那の移動も未だその他重要物資の移動も不可能な状態に陥り、その精神的打撃の甚大は固より經濟的には全く行詰りつゝある。

賣度し 盛業中の洗濯店
好條件にて賣度
レ、交渉は左記へ御來談あれ
市内パトリミオス街ニ一等地
レ、丁二三(アチルデン)三八一七
求人 洗濯店ラバンデ一口
至急入用、無経験に
ても可御承認左記へ

延長実は千五百五十江へ
海上で、こり同炎熱焼くが如き熱帶
海面が大半を占め海南の温度百三

金井先生の二年半にわたる日記
「砲鳥」を機として各自の仕事と遂に
全般除鮮がある有機的連絡

の進退果敢で行動と卓絶した戦術と
圧倒的戦技に対しては英國軍事専門家
達も素聞も無く讃嘆の声を上げてゐる

ハシーライコ緑カセーロス駄前
シントレリーア銀座

賣度し 盛業中の洗濯店
好條件にて賣度
し、交渉は左記へ御來談あれ
市内パトリシオス街
二一番地
トナリ（アナルデ）三八一七
求人 洗濯店ラバンンデー口
至急入用、無秘密に
ても可御來談左記へ
パシニイコ練カセアス取前
「ントレリア銀座」

21 de Septiembre de 1937.

El "Argentino Jijo"

Año XIV No. 732 (A)

世々田代宣傳單入(2)

宣傳の力は兵器以上だ！

重爆弾よりも強紙片

世界大戦にドイツが敗れたのは宣傳戦に負けた爲だ、宣傳は恐るべき兵器だ。ルーデンドルフ將軍もはつきりこう率実を認めてゐる。

キリストの釋迦も宣傳士兵器とした。ローマ法皇ウルバン八世(二

二三年に就任)は布教のための宣傳大學を設立した。

アメリカは世界大戦参加の直前に情報委員会ある宣傳機関を設置したが、この委員会は数十種類の宣伝パンフレットを七ヶ国語で印刷し、七千五百万部をアメリカ国内に撒いた。教會は海外に撒布した。

大戦中四十五回の会合を開き、日本編訳者は七百人、十万部の新聞

を発行し、ボスターは四百八十三ヶ

百種類、つづいて報告され

てゐる。

聯合軍側がドイツの頭上にバラ撒いたヒラを見ると、或るものはドイツの窮屈さ、或るものほその

敗北を語り、その後方撃乱を企てるものであつた。それ一例を示しておこう。

「親愛ある諸君！ 諸君が祖国のために戦線に立つて以来、我等は一刻たりとも名譽ある凱旋を祈らぬことはあり、しかし戦線は一勝

一敗、何時果てるともわからぬ。我々はま

だ幸福だ、可愛い妻子と共に居る

からである。然るに君達は何を知

らぬが、出征兵士の妻君の不

だらか有様はどうだ、普通は日常

茶飯事とあつてしまつた、戦地か

う帰休兵や、君等の上級は、戦

線はある勇士の家庭を訪問しては

妻君と何をしてゐると思ひか。彼

等は色飯食だ。かうして見ると君

等の敵は一休どこに居るんだらう

か？

「郷里の友より」

と云つたやうなもんが、戦地に在

る兵士の士氣は忽ちにドロン、童

年五千人へ義勇奉仕者は五千二百

人団体で傷いた。講演会を開くこ

と実に七十五万六千回、使用され

た編訳者は七百人、十万部の新聞

を発行し、ボスターは四百八十三ヶ

百種類、つづいて報告され

てゐる。

そこで製作された、幻燈器の製造は二十万台を数へ、軍事専用は毎月七百種類、つづいて報告され

てゐる。

聯合軍側がドイツの頭上にバラ撒いたヒラを見ると、或るものは

ドイツの窮屈さ、或るものほその

敗北を語り、その後方撃乱を企てるものであつた。それ一例を示しておこう。

「親愛ある諸君！ 諸君が祖国のために戦線に立つて以来、我等は一刻たりとも名譽ある凱旋を祈らぬことはあり、しかし戦線は一勝

一敗、何時果てるともわからぬ。我々はま

だ幸福だ、可愛い妻子と共に居る

からである。然るに君達は何を知

らぬが、出征兵士の妻君の不

だらか有様はどうだ、普通は日常

茶飯事とあつてしまつた、戦地か

う帰休兵や、君等の上級は、戦

線はある勇士の家庭を訪問しては

妻君と何をしてゐると思ひか。彼

等は色飯食だ。かうして見ると君

等の敵は一休どこに居るんだらう

か？

「郷里の友より」

と云つたやうなもんが、戦地に在

る兵士の士氣は忽ちにドロン、童

年五千人へ義勇奉仕者は五千二百

人団体で傷いた。講演会を開くこ

と実に七十五万六千回、使用され

た編訳者は七百人、十万部の新聞

を発行し、ボスターは四百八十三ヶ

百種類、つづいて報告され

てゐる。

<p>正宗 四合瓶入</p> <p>SANDO Cia DEFENSA 540 (C.U.T.33 - 2296)</p> <p>CASA NAKAGAWA SUAREZ 1300 (C.U.T.21 - 0869)</p>	<p>白鶴 日本酒</p> <p>Gran Bawing Chaco DE JOSE CASTRO LEANDRO N. ALEMÁN</p> <p>十月一日より開店 グラン・ダンシング チヤコ</p> <p>美人ダンサー一百五十人! 日本人モードを販入酒瓶 の御満足行くやうサービス 致します</p>
--	---